

OECD 2030年の教育と技能の未来に向けたグローバルフォーラム って何？ (OECD The Global Forum on the Future of Education and Skills 2030)

概要

○OECD主催の教育フォーラム **Education2030プロジェクトの一環**

○主な対象は、**教育カリキュラムの設計と実施の分野**で活動する教育関係者

○行政関係者や研究者だけでなく**マルチステークホルダー**による**国際協力と対話のプラットフォーム**

※Education2030の特徴

教員を目指す学生や、教育を受ける立場の生徒も対等に議論

○参加者が協力して、様々な立場の人々が**新しい学びへの共通理解**を持ったり、**新しい知識を生み出して**政策立案者に情報提供したりすることが目的

開催 状況

○2020年から開催（新型コロナ終息以降は年1回のリアル開催）

第1回(2020年 5月)フランス(リモート)

第2回(2020年10月)フランス(リモート)

第3回(2021年 5月)エストニア(リモート)

第4回(2022年 5月)イスラエル

第5回(2023年12月)ルーマニア

第6回(2024年10月)日本



※日本のOECD加盟60周年も踏まえて日本で開催

第6回 OECD 2030年の教育と技能の未来に向けたグローバルフォーラム 群馬コース

柱：ビジョンメイキング／コンセプトメイキング（Teaching Compass）

新しい時代のTeaching Compassに焦点を当てて対話を行う

宮城・仙台：AI時代のSTEM/STEAM教育に関連した視点でTeaching Compassを考える（東北大）
群馬：社会情動的学習（SEL）に関連した視点でTeaching Compassを考える（群馬県）
石川・能登：災禍での教育を止めないためのTeaching Compassを考える（石川県）
埼玉・戸田：包摂的かつ革新的な教室におけるTeaching Compassを考える（戸田市）

キーワード

対話

国際協力

マルチステイクホルダー

社会情動的学習

【群馬県の取組】

非認知能力の評価・育成事業

目指す児童生徒の姿「自分と他者をかけがえのない存在として認識した上で、課題を自分事化し、自ら考え、判断して、責任のある行動をとる人」

学校の実態や発達段階に応じて、児童生徒の自主性を伸ばす活動や授業等の工夫、学校運営の改善など、児童生徒が自主性・自律性を生かせる場を設定し、それに取り組む過程での児童・生徒の資質・能力の発達を目指す。

新しい時代のTeaching Compassの提案

OECDの目的に加えて、群馬県独自のねらいとして、
グローバルフォーラム（群馬会場）への参加を通して、生徒の資質・能力の発達を目指す。

「第6回OECD2030年の教育と技能の未来に向けたグローバルフォーラム」群馬コース（概要）

目的	非認知能力の育成やSELの視点から新しい学びに向けた教員の指導の在り方（ティーチング・コンパス）を考える。 ● OECD主催の教育フォーラム Education2030プロジェクトの一環 ● 主な対象は、教育カリキュラムの設計と実施の分野で活動する教育関係者 ● 行政関係者や研究者だけでないマルチステークホルダーによる国際協力と対話のプラットフォーム ● 国際交渉ではなく、参加者が協力して、各ステークホルダーの研究ギャップを埋めたり、政策立案者に情報を提供したりするための新しい知識を生み出すことが目的	
	【1日目】10月10日（木）	【2日目】10月11日（金）
参加者	113名（生徒53名、教職員20名、OECD職員及び専門家14名、教育委員会関係26名）	40名（生徒12名、教職員4名、OECD職員及び専門家13名、教育委員会関係11名）
内容	1. 開会挨拶 2. パネル講演 3. グループディスカッション 4. 歓迎挨拶（群馬県知事 山本一太） 5. SAH指定校事例発表 6. グループディスカッション2 7. 1日目のまとめ	1. 学校視察 授業参観 生徒によるSAH指定校取組発表 2. グループディスカッション3 3. 閉会行事

「第6回OECD2030年の教育と技能の未来に向けたグローバルフォーラム」群馬コース（概要）

ディスカッション の内容 (振り返りより)

- ・失敗を許容し、学びの過程で生徒が試行錯誤できるようなサポートが求められている。
- ・教師が生徒と対話し、共に学び成長していく姿勢が重要である。
- ・教師のストレスが生徒に伝搬する。そのため、すべての教師が元気に生徒を支えられるような職場環境の整備が必要である。
- ・生徒は、エージェンシーを発揮する学びへの希望を表明する一方で、教師も生徒も、受験への圧力がある現実の狭間にいる。
- ・「connecting」をキーワードに、認知能力と非認知能力、生徒と教師、学校と家庭のような二項対立でなく、様々な要素が相互に関連していることを捉えて考えるべきである。
- ・教師は、生徒に選択の自由や自己決定、また他人与合意形成する機会をつくる姿勢が求められる。これにより生徒との信頼関係が深まり、学習意欲の向上に繋がる。
- ・生徒が意見を持ち表現することが期待されるが、すでに上下関係が確立されている学校の中では、子どもと教師が同等な立場で対話することが難しい。
- ・今回、マルチなグループ対話において、多様な人材が集まったからこそ、生徒が素晴らしいAgencyを発揮できた。

「第6回OECD2030年の教育と技能の未来に向けたグローバルフォーラム」群馬コース（概要）

成果

- ・ OECDが主催する国際フォーラムにおいて、群馬県が1つのコースの運営を担うことができ、国際的な協力、貢献ができたこと。
- ・ 海外からの参加者を含めて延べ153名の参加者が、群馬県が取り組んでいる非認知能力の育成やSELの視点からOECDが検討を進めているティーチング・コンパスの議論に参加し、知見を深めることができたこと。
- ・ 群馬県が取り組んでいる非認知能力の育成やSAH指定校の実践について、世界に向けてアピールすることができたこと。
- ・ 生徒がグループ・ディスカッションにおいて、海外からの参加者を含めた様々な立場の人と議論することで、生徒の視野が広がったり、進路を含めたキャリアについて考えが深まったりすることができたこと。
- ・ 令和8年度末に作成予定である非認知能力の育成に係る群馬モデルに、本フォーラムで得た知見を活かすことができる。

群馬コースにおける高校生参加の グループディスカッションに向けた取組

OECDの目的に加えて、群馬県独自のねらいとして、
グローバルフォーラム（群馬会場）への参加を通して、生徒の資質・能力の発達を目指す。

【群馬県の取組】非認知能力の評価・育成事業

○目指す児童生徒の姿

「自分と他者をかけがえのない存在として認識した上で、課題を自分事化し、
自ら考え、判断して、責任のある行動をとる人」

→今回のグローバル・フォーラムを通して、生徒が自主性・自律性を生かせる場を設定し、
それに取り組む過程で、参加する生徒の資質・能力の発達を目指す。

○目指す具体的な生徒の姿

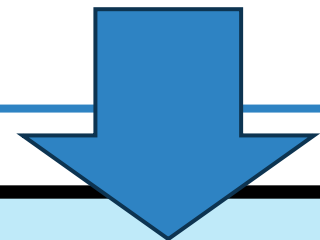
- ・自分の考え、思いをもち、他者と意見交流を行う。
- ・他者との対話の中で、多様な考えに気づき、自分の考えを再構築する。
- ・対話すること、協働することの大切さに気づき、意欲的に関わろうとする。
- ・自己をみつめ、なりたい自分に向けて挑戦しようとする。
- ・未来の世界について、自分事として考え、関わろうとする。

【群馬県の取組】

非認知能力の評価・育成事業

目指す児童生徒の姿「自分と他者をかけがえのない存在として認識した上で、課題を自分事化し、自ら考え、判断して、責任のある行動をとる人」

学校の実態や発達段階に応じて、児童生徒の自主性を伸ばす活動や授業等の工夫、学校運営の改善など、児童生徒が自主性・自律性を生かせる場を設定し、それに取り組む過程での児童・生徒の資質・能力の発達を目指す。



どのような手立てで？

G F当日を迎える前に、3回の事前学習の実施

<ポイント>

- チャレンジすることに楽しみ感じられる活動の設定
- 考えるための知識を得る場の設定
- 正解のない「問い」の設定
- 自分事となる「問い」の設定
- 自分の思いを伝い合える安心感のある対話の場の設定
- 言語への抵抗感を軽減する場の設定
- 自分の伸ばしたい力を意識できる個人のめあてを考える場の設定
- 自己の学びや取組を振り返る場の設定

<参加する支援者>

- 支援者の共通理解
- 生徒が意欲をもてる声かけ
- 支援者自身のチャレンジ精神

事前学習 / 支援者（教員、教育委員会関係者等）MTGの計画

目指す生徒の姿：「自ら考え、判断し、行動ができる生徒」

「支援者の視点」どのような支援をすることで、目指す生徒の姿に近づけることができるか。

参加者（高校生）対象 事前学習

事前学習①
9月18日（水）

事前学習②
9月24日（火）

事前学習③
10月4日（金）

Day 1
10月10日（木）

支援者対象 支援者MTG

支援者MTG
GFについて

支援者MTG
事前学習①について

支援者MTG
事前学習②について

支援者MTG
事前学習③について

支援者MTG
DAY 1について

☆支援者の共通理解

生徒が自主性・自律性を生かせる場を、支援者として、どのように設定できるか。→支援者も学びの場
DAY 1で生徒が「発表」ではなく、自分の言葉で「対話」できるような支援。→きれいな台詞は求めない

事前学習の内容について（計画）

目指す生徒の姿：「自ら考え、判断し、行動ができる生徒」

事前学習① 9月18日（水）

（ねらい）
新しい時代にどのような力が大切かについて話し合うことを通して、ラーニングコンパスについて理解する。

（めあて）
「新しい時代に向けて、どのような力が大切なのだろうか？」

（内容）
○GFについて知る。
○新しい時代に、どのような力が大切かを考える。
・未来の社会について考える。
・めあてについて考える。
個→対話→共有
○（振）今の自分を振り返り、GF参加で伸ばしたい力を意識する。

事前学習② 9月24日（火）

（ねらい）
どのような学びをしていくことが大切かについて話し合うことを通して、課題を自分事として捉え、自ら考え、意見をもつことができるようにする。

（めあて）
「新しい時代に向けた力を伸ばすために、どのような学びをしていくことが大切なのだろうか？」

（内容）
○（非）伸ばしたい力を意識する。
○前回の内容の共有。
○新しい時代に向けた力を伸ばすために、どのような学びをしていくことが大切かを考える。
・伸びたと感じた経験を共有する。
・めあてについて考える。
個→対話→共有
○（振）自己の振り返り。

事前学習③ 10月4日（金）

（ねらい）
学習への支援者に大切な力について話し合うことを通して、ティーチングコンパスについて、他者と協働しながら考えようとする態度を養う。

（めあて）
「新しい時代に向けて、学習への支援者には、どのような力が大切なのだろうか？」

（内容）
○（非）伸ばしたい力を意識する。
○前回の内容の共有。
○新しい時代に向けて、学習への支援者には、どのような力が大切かを考える。
・支援を受けた経験を共有する。
・めあてについて考える。
個→対話→共有
○（振）自己の振り返り。

Day 1 10月10日（木）

DAY 1 10月10日（木）

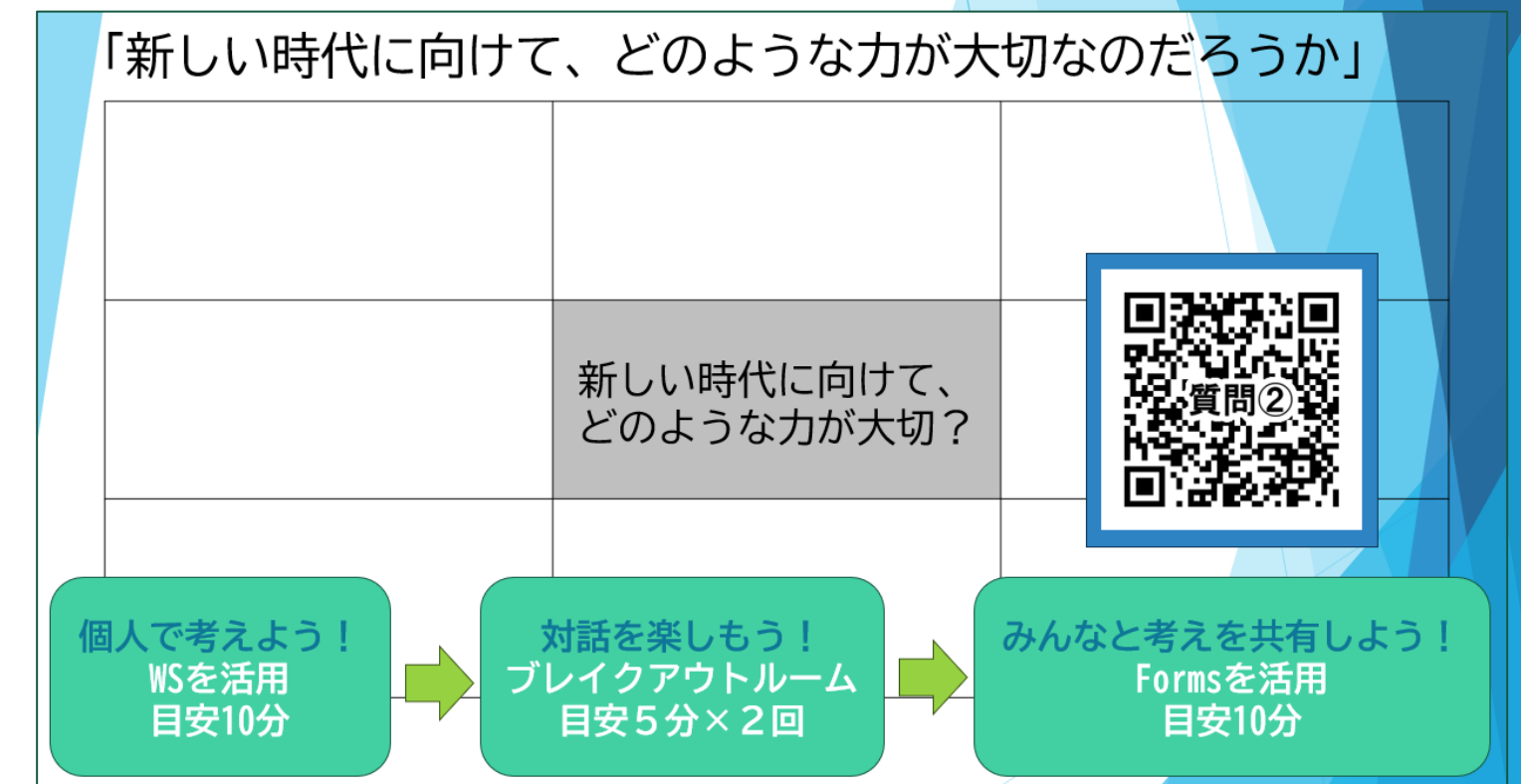
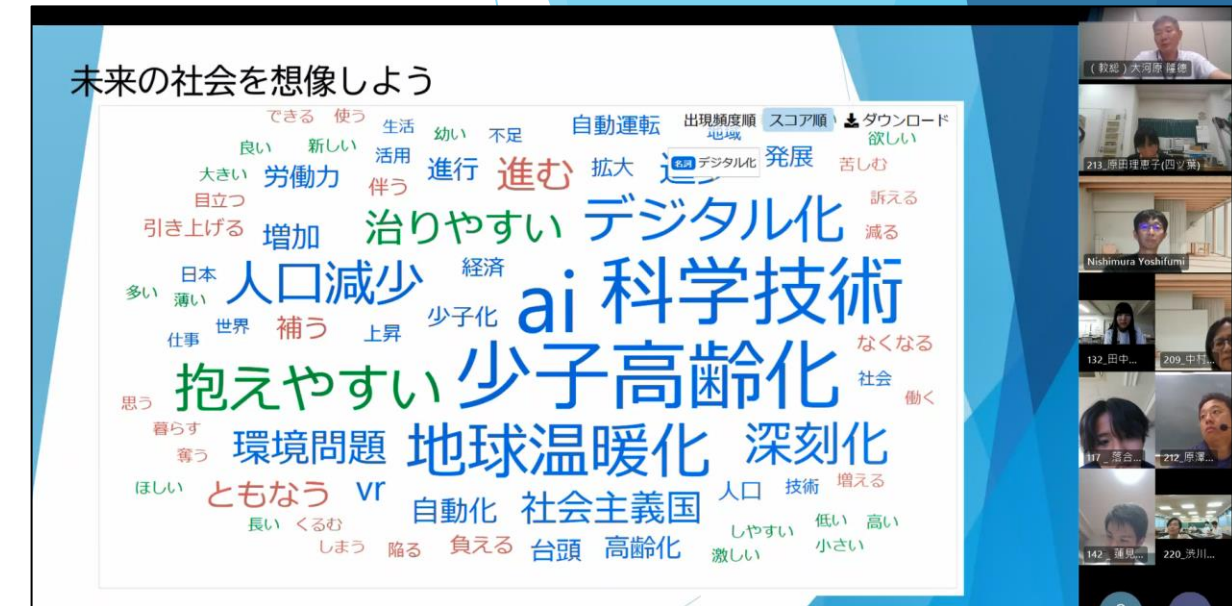
【フォーカスグループ（午前）】
テーマ（生徒用）
・学習者はどのように変わる必要がありますか？
・「私たちが愛する先生たち」に関する学生の声キャンペーン
・先生には何が必要ですか？

テーマ（教育委員会用）
新しい時代に向けて学習者と教師のために、どのような環境とサポートを構築できるでしょうか？

マルチステークホルダー（午後）
テーマ
・教室やカリキュラムで社会情動的スキルを伸ばすために、生徒が自立性と自律性を発揮する機会をどのように提供できるでしょうか？

事前学習①

- 1 OECDグローバルフォーラムについて知ろう
- 2 未来の社会を想像しよう
- 3 「新しい時代に向けて、どのような力が大切なのだろうか」
みんなで考えてみよう
- 4 今の自分を振り返ろう
- 5 事前学習②についての連絡



事前学習②

「新しい時代に向けた力を伸ばすために、
どのような学びをしていくことが大切だろうか？」

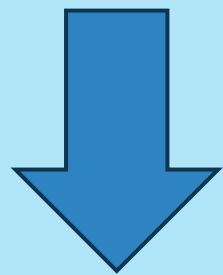
- 1 みんなの考えた、新しい時代に大切な力を確認しよう
- 2 大切な力が「伸びたな」と思う体験、経験を共有しよう
- 3 新しい時代に向けた力も伸びる授業を提案しよう
- 4 事前学習③についての連絡

「新しい時代に向けた力を伸ばすために、
どのような学びをしていくことが大切だろうか？」

1 みんなの考えた、新しい時代に大切な力を確認しよう

※チームでの活動（生徒6名程度）

2 大切な力が「伸びたな」と思う体験、経験を共有しよう



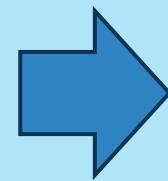
<時間10分>

次の授業提案につながるように、体験、経験を共有しよう。
いつ？ どんな力？ どんな体験？

3 新しい時代に向けた力も伸びる授業を提案しよう

個人でアイデア<5分>

- ・授業イメージ
- ・入りたい活動



チームで共創<15分>

- ・授業イメージ
- ・入りたい活動



授業計画作成
ざっくりでもOK



みんなで
共有<5分>

4 事前学習③についての連絡

「新しい時代に向けた力を伸ばすために、 どのような学びをしていくことが大切だろうか？」

新しい時代に向けた力も伸びる授業を提案しよう

ワークシート（生徒の記述）

3 新しい時代に向けた力も伸びる授業を提案しよう（4時間くらいの計画）

授業のイメージ	生徒に考えさせる授業。 今後について考え、何をすべきか考える授業。
入りたい活動	全員の意見を集める。話し合いメイン。議論。 アンケート形式や提出形式をとり、挙手制をやめる。

【授業タイトル】

今後どのように行動していくべきか考える。 (環境問題、社会問題)	意見を必ずつき出す。 自分と似た意見の人と深める。 相違点と両通を確認。
話し合いを通して 自分が最も良いと思った 意見について深めていく。	他の意見のグループと 自分の意見について 発表する。

3 新しい時代に向けた力も伸びる授業を提案しよう（4時間くらいの計画）

に話しかけたら、した

授業のイメージ	発言が活発な授業。 1人1人が意見を持っている授業(全員が授業に参加)
入りたい活動	「みんな違ってみんないい」を感じられる活動。 グローバルな問題について考える活動。 グループ活動、聞きこみ調査。

【授業タイトル】

世界の文化や歴史、課題について、調べたり、話を聞く。 (海外の人とも話せたらさらにGOOD!)	個人での意見を考える。 良いところ悪いところや、改善策など。 日本との違いなども考える!
グループなどで意見交換。 さまざまな考え、価値観に触れる。 質問し合う!	改めて、考えて、ふり返りをして、 自分でできる取り組みをする。 みんなでまとめ意見発表!

事前学習③

「新しい時代に向けて、学習への支援者には、
どのようなことが大切だろうか？」

- 1 みんなの考えた、新しい時代に大切な学びの共有
- 2 支援をした／受けた体験、経験を共有しよう
- 3 新しい時代に向けて、学習への支援者には、
どのようなことが大切か、みんなで考えよう
- 4 グローバルフォーラムについての連絡

「新しい時代に向けて、学習への支援者には、 どのようなことが大切だろうか？」

1 みんなの考えた、新しい時代に大切な学びの共有

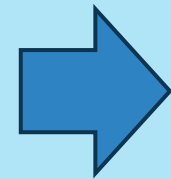
※グループでの活動（グローバルフォーラム当日のグループ）

2 支援をした／受けた体験、経験を共有しよう



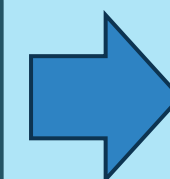
3 新しい時代に向けて、学習への支援者には、
どのようなことが大切か、みんなで考えよう

個人で<5分>
・どのようなこと？
・Why？



チームで共創<15分>
・まとまらなくOK
・たくさんの意見をだそう

※今日の進行、記録は
高校生でやってみよう。



みんなで
共有<5分>

4 グローバルフォーラムについての連絡

6th Global Forum on the Future of Education and Skills 2030
The OECD Teaching Copass : Empowering Students and Teachers

**Overview of
Gunma Site
Visit**



2024.10.10-10.11

GUNMA SITE VISIT

2. Morning Group Discussion



事前学習①

生徒のワークシートの感想

急速な変化に対応していく力	積極的に興味をもつ力	英語力
得意を伸ばしていく力	新しい時代に向けて、どのような力が大切？	自ら問題意識をもって解決に向けて努力する力
失敗を恐れずチャレンジする力	環境適応力	コミュニケーション能力

事前学習①

どのような力	得意を伸ばしていく力（語学力）
今の自分（現状）	英語力向上のために毎日頑張っています。
こうなりたいな	海外の人と会話できるようになりたい！いろいろな人と自分の好きなものについて沢山話したい！フランスが好きなので、フランス語も話せるようになりたい！

Day 1

G F	
感想	国際フォーラムに参加して、さまざまな高校生や大人たちと教育システムの課題について意見を交わすことができ、 とても刺激的 でした。異なる視点を持つ参加者との対話を通じて、 自分の考えを広げる ことができ、 教育の未来について深く考える機会 になりました。 自分にとっては当たり前のことが、他の人にとってはそうでないこともある のだと知って、驚きました。 多様性の重要性を実感し、今後の学びに活かしていきたい と思います。このような貴重な経験ができたことに感謝しています。ありがとうございました。

事前学習②

「新しい時代に向けた力を伸ばすために、どのような学びをしていくことが大切だろうか」

世界問題にも敏感になっていくこと（日本に限らず）

事前学習②

どのような力	自分で考えたことを英語にして伝える力
こうなりたいな	自分の意見を持ってそれを英語で伝えられる人
今日の振り返り	+1（G F 参加前の自分に比べて） 自分の声が聞き取りにくかったようで、申し訳なかったが、グループ内での発表では新しく学びになることも沢山あった。私は「英語力」が大切だと考えたが、なんとグループの中でもそう考えている人もいて、意見の違う人だけでなくそういった同じ意見の人の考えを聞くのも楽しかった。

事前学習③

「新しい時代に向けて、学習への支援者には、どのようなことが大切だろうか」

一番大切なのは、一人一人に寄り添うこと。具体的には、無数にある情報の中から一人一人が必要としている情報をピックアップして進路の選択を狭めないように！

事前学習③

どのような力	今まで考えたことのない新しい視点から考える力
こうなりたいな	多角的に考えられる人
今日の振り返り	+1（G F 参加前の自分に比べて） 自分以外先輩で緊張したけれど、皆さん優しくかったし、意見交換ができて楽しかった。班で「少人数制の授業」は良いという意見が出たときは、私は学級が8人だった学校に通っていたことがあって良さを知っているので、同じ意見の人がいて嬉しくなった。

教師の感想

社会の変化に伴った今後の教育の在り方や、教師の在るべき姿について、国や年齢、立場の異なる人々と活発に議論でき、大きな学びのある一日となりました。高校生から、**学習の最終的なゴールはテストや大学入試ではなく、人生を豊かに生きるためだという意見もいただき、はっとさせられました。**生徒と教師のウェルビーイングという視点から、教育活動について見直していきたいと感じました。

生徒と共に教育を語る機会は初めてであった。教育、学校に対して抱いている生徒・教員の熱い思いを共有でき、有意義であった。
教員の立場として、社会情動的スキルを育むために、**生徒に全てを与えすぎない授業、失敗を許容し、自己を振り返る「余白」を設けた授業を考えていきたい。**

生徒にとって、いろいろな考えに触れることはもちろん、こうした場で英語を用いて四苦八苦しながら意見を述べる経験は非常に貴重なものとなったと思います。また、生徒、教員共々**日本、群馬の教育のよさ、課題を再認識できた**と思います。

素晴らしいの一言です。参加した高校生も素晴らしかった。時間が足りないと思ったくらいです。10代でこのような経験をした生徒がどのように成長するのか楽しみでしかありません。マルチステークホルダーが同じ立場で意見交換するというのは画期的でした。**学校現場でも教師と生徒が同等の立場で議論する機会を増やすべきだ**と思います。本校でもやってみようと思います！

5. School Tour



2024.10.10-10.11



【群馬県の取組】

非認知能力の評価・育成事業

目指す児童生徒の姿「自分と他者をかけがえのない存在として認識した上で、課題を自分事化し、自ら考え、判断して、責任のある行動をとる人」

学校の実態や発達段階に応じて、児童生徒の自主性を伸ばす活動や授業等の工夫、学校運営の改善など、児童生徒が自主性・自律性を生かせる場を設定し、それに取り組む過程での児童・生徒の資質・能力の発達を目指す。

心理的安全性

失敗のできる場

体験の機会

対話、他者との交流

目に見える
成果を求めない

<ポイント>

- チャレンジすることに楽しみ感じられる活動の設定
- 考えるための知識を得る場の設定
- 正解のない「問い」の設定
- 自分事となる「問い」の設定
- 自分の思いを伝え合える安心感のある対話の場の設定
- 言語への抵抗感を軽減する場の設定
- 自分の伸ばしたい力を意識できる個人のめあてを考える場の設定
- 自己の学びや取組を振り返る場の設定

<参加する支援者>

- 支援者の共通理解
- 生徒が意欲をもてる声かけ
- 支援者自身のチャレンジ精神